

May 9, 2019

【前日の為替概況】ドル円、米中通商協議への警戒感から 109.97 円-110.27 円で小動き

8日のニューヨーク外国為替市場でドル円は4日続落。終値は110.10円と前営業日NY終値(110.26円)と比べて16銭程度のドル安水準だった。

トランプ米大統領がツイッターで「劉・中国副首相は通商協議を修復させるプランを持っている」と発言すると110.27円付近まで買いが先行したものの、米通商代表部(USTR)が「2000億ドル相当の中国輸入品に対する関税を10日に現行の10%から25%に引き上げる」と官報で正式通知すると失速した。

その後、サンダース米大統領報道官が「中国から米国との合意に前向きな示唆があった」と述べると買い戻しが入ったものの、戻りは鈍かった。中国商務省が「米国の対中関税が発効すれば、中国は報復措置を講じる可能性がある」との声明を発表したことが嫌気されて109.97円付近まで下押しした。

ユーロドルはほぼ横ばい。終値は1.1192ドルと前営業日NY終値(1.1191ドル)と比べて0.0001ドル程度のユーロ高水準だった。ロンドンフィキシングに向けた買いが入り一時1.1214ドルと日通し高値を付けたものの、買い一巡後は上値が重くなった。米長期金利の上昇に伴うユーロ売り・ドル買いが出て一時1.1183ドルと日通し安値を付けている。

ユーロ円は6日続落。終値は123.22円と前営業日NY終値(123.38円)と比べて16銭程度のユーロ安水準。

ポンドは下落。「英国の欧州連合(EU)離脱を巡る与野党協議が決裂寸前」との報道を手掛かりに全般ポンド売りが広がった。ポンドドルは1.2987ドル、ユーロポンドは0.8624ポンドまでポンド安に振れた。ポンド円は欧州時間に143.04円と日通し安値を付けたあとは143円台前半での小動きに終始した。

英政府は今月23-26日に実施される欧州議会選に参加すると表明した。メイ首相は当初、欧州議会選への不参加を望んでいたが、英与野党協議で妥結の目処が立たず、参加への決断を迫られたとみられる。

【本日の東京為替見通し】米中貿易戦争の再戦まで29時間、関連ヘッドラインに要警戒か

本日の東京市場のドル円は、米中貿易戦争の停戦終了まで約29時間となる中、中国4月の物価指標を見極めながら、本日から明日にかけてワシントンで開催される米中通商協議に関連するヘッドラインに警戒する展開となる。

トランプ米大統領とライトハイザー米通商代表部(USTR)代表は、米中通商協議が合意に至らなかった場合、10日金曜日の米国東部時間の午前0時1分(日本時間10日午後1時1分)に、2000億ドルの輸入品に対して対中制裁関税を10%から25%に引き上げると警告している。そして、中国は、その1分後に報復関税を発動する、と警告している。

米中通商協議の論点は、中国が知的財産権を巡る法改正に応じるか否かとなる。また、中国の1-4月の対米貿易黒字は836.6億ドルとなり、昨年同時期から増加しており、トランプ米大統領の心証を悪化させる可能性にも要警戒か。

中国の報復措置として保有米国債の売却が警戒されているが、昨日の米国債入札は、中国の不参加により不調に終わっており、米10年債利回りの上昇に繋がっている。

米中通商協議で合意に達する確率は、JPモルガン・チェースのダイモン最高経営責任者は80%、ダブルライン・キャピタルの最高投資責任者のガンドラック氏は50%と見ている。

テクニカル分析での合意確率は悲観的で、円高・株安を示唆している。ドル円は、ダブル・トップ(112.14円・112.40円)形成し、200日移動平均線を下回り、窓(3日安値111.07円・6日高値110.96円)を空けて下落トレンドを形成しつつある。日経平均株価も、窓を空けて200日移動平均線を下抜けており、下落トレンドを形成しつつある。

楽観的見方は、トランプ大統領発言「劉中国副首相は通商協議を修復させるプランを持っている」、サンダース大統領報道官発言「中国から米国との合意に前向きな示唆があった」。

悲観的見方は、中国共産党の機関紙「人民日報」の系列紙報道「中国は協議を一時的に中断する用意がある」や中国商務省声明「米国の対中関税が発効すれば、中国は報復措置を講じる可能性がある」。

中国の4月の消費者物価指数の予想は、前年比+2.5%、生産者物価指数の予想は、前年比+0.6%と見込まれており、予想を下回った場合は、リスク回避の株売り・円買い要因となる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○14:00 ◇ 4月消費動向調査（消費者態度指数 一般世帯、予想：40.3）

<海外>

○08:01 ◇ 4月英王立公認不動産鑑定士協会（RICS）住宅価格（予想：▲22）

○10:30 ◎ 4月中国消費者物価指数（CPI、予想：前年比2.5%）

○10:30 ◎ 4月中国生産者物価指数（PPI、予想：前年比0.6%）

○17:00 ◎ ノルウェー中銀、政策金利発表（予想：1.00%で据え置き）

○21:00 ◎ 3月ブラジル小売売上高指数（予想：前年同月比▲2.6%）

○21:30 ◇ 3月カナダ新築住宅価格指数（予想：前月比横ばい）

○21:30 ◇ 3月カナダ貿易収支（予想：24.5億カナダドルの赤字）

○21:30 ◎ 4月米卸売物価指数（PPI、予想：前月比0.2%／前年比2.3%）

◎ 食品とエネルギーを除くコア指数（予想：前月比0.2%／前年比2.5%） ○21:30 ◎ 3月米貿易収支（予想：502億ドルの赤字）

○21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：22万件／167万人）

○21:30 ☆ パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長、あいさつ

○22:00 ◎ 4月メキシコ消費者物価指数（CPI、予想：前月比0.06%）

○22:45 ◎ ポスティック米アトランタ連銀総裁、講演

○23:00 ◇ 3月米卸売売上高（予想：前月比0.2%）

○23:00 ◇ 3月米卸売在庫（予想：前月比横ばい）

○10日 02:00 ◎ 米財務省、30年債入札

○10日 02:15 ◎ エバンス米シカゴ連銀総裁、講演

○欧州連合（EU）非公式首脳会議（ルーマニア・シビウ）

○ロシア（戦勝記念日）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

8日 09:49 イングベス・リクスバンク(スウェーデン中銀) 総裁

「スウェーデンコロナ安は、問題ではない」

「現行の金融政策の枠組みの下でインフレ目標を設定しているため、スウェーデンコロナ安は受け入れるしかない」

8日 11:11 ニュージーランド準備銀行(RBNZ)声明

「雇用とインフレ見通しを考慮すると、利下げは目標を達成するために必要」

「利下げはよりバランスのとれた見通しを提供」

「国内成長は2018年後半から減速した」

「雇用は持続可能な最大水準に近づいている」

8日 12:17 オア RBNZ 総裁

「景況感と個人消費が予想以上に低迷した」

「米中貿易協議の不透明などがリスク」

「金利の軌道を巡る不確実性は大きい」

8日 14:26 イランのロウハニ大統領

「イランは核合意から離脱しないだろう」

「イランは核合意の履行について一部を停止へ」

8日 18:03 ラムスデン BOE 副総裁

「ブレグジットに対する多くのリスクは和らいだが、幾つかは残っている」

8日 21:41 ブレイナード米連邦準備理事会(FRB)理事

「イールドカーブの目標について議論」

「金融危機や景気後退で再び0%への短期金利引き下げを行うことになった場合、1年債や2年債など、より長めの債券の金利を目標にするかもしれない」

8日 21:44 レッドソム英下院院内総務

「労働党との協議に懸念」

「労働党との協議で私が望むものは何もなかった」

8日 21:56 トランプ米大統領

「劉・中国副首相は通商協議を修復させるプランを持っている」

「1000億ドルの中国製品への課税はとてもハッピーなこと」

8日 23:23 バーキン米リッチモンド連銀総裁

「低失業率・低金利の状況下で景気後退に陥るとは考えにくい」

「好調な経済が続くとの見方を維持」

8日 23:44 モリソン米大統領特別補佐官

「(イランへの追加制裁)早急に行われると思う」

9日 00:07 サンダース米大統領報道官

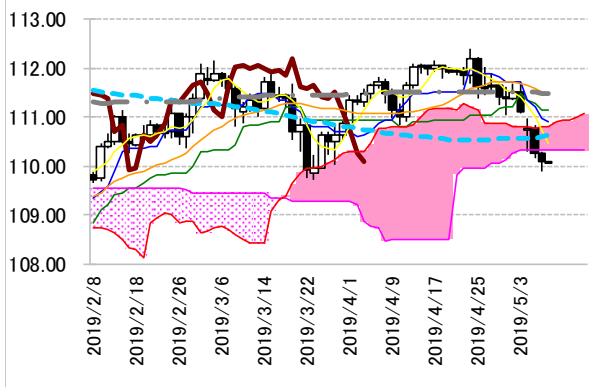
「中国から米国に合意に前向きな示唆があった」

9日 00:41 中国

「米制裁関税が課されれば、報復措置を取ることになるかもしれない」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

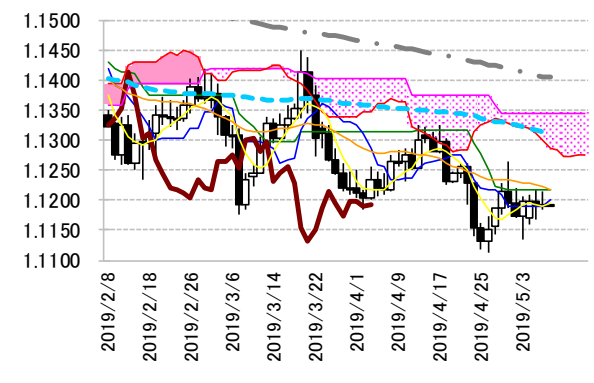


<ドル円＝一目・雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下抜けたことで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯した。ダブル・トップ (112.14円・112.40円) 形成後の窓 (3日安値 111.07円・6日高値 110.96円) 空けで下落トレンドの可能性が高まりつつある。

本日は、一目・雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	111.15(日足一目均衡表・基準線)
レジスタンス 1	110.81(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	110.10
サポート 1	109.71(3/25 安値)
サポート 2	108.50(1/31 安値)

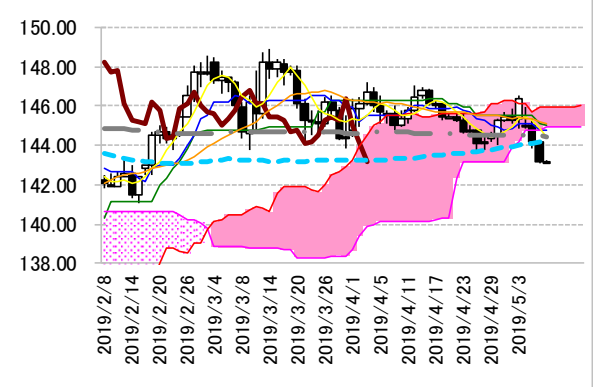


<ユーロドル＝一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

寄り引線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・基準線 1.1218 ドルを念頭に置き、一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1285(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	1.1192
サポート 1	1.1112(4/26 安値)

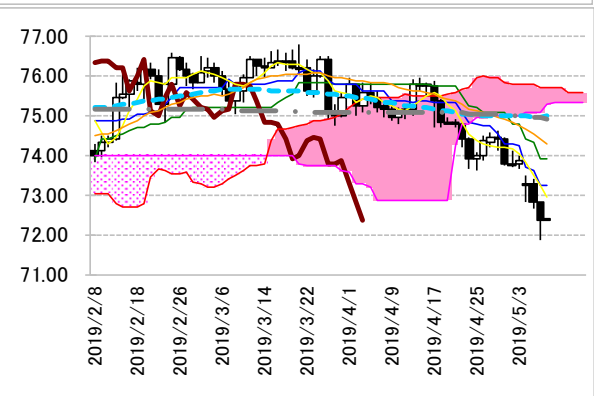


<ポンド円＝一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	144.78(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	143.20
サポート 1	142.48(2/19 安値)



<NZドル円＝一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

下ヒゲ陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	73.23(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	72.38
サポート 1	71.84(1/4 安値)

